

教科・分野	週時間数	クラス	生徒数	担当者
美術・工芸	1	A～C	98	森 茂 樹
目 標	著しい心身の発達が見られる時期の生徒たちに、内面的な充実を感じさせ、創造することの喜びを通じて、人間形成の深化を図る。			
大切に育てたいもの	1. 造形的な創造活動の能力を伸ばすことを大切にしています。 2. 創造することの喜びを感じることを大切にしています。 3. 美術を愛好する心情を育んでいくことを大切にしています。			

学期	考査	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期	期末	和紙をつかって貼り絵を製作する	1. 日本の四季おりおりに見られる伝統的な美をテーマにして絵柄を決める。 2. テーマに基づいて資料を収集し、アイデアスケッチを繰り返し描き、自分のイメージ(構想)を視覚化できるようにする。 3. 伝統的な貼り絵の技法を学び、それに自分なりの応用を加えてオリジナル作品を制作する。 4. 完成した作品を表装し互いに鑑賞する。オーストラリア研修でホームステイする家族へのプレゼントにしてもよい。
二学期	期末	絵巻物をつくる	1. 中国から伝来し、日本の美術品として独自に様式化していった「絵巻物」について鑑賞し、日本の美術品のよさを認識する。 2. 自分史や旅行記などをテーマにして起承転結のあるストーリーを書き、絵と詞書のあるそれぞれの場面を描く。 3. 墨を使い、筆による線描や濃淡など、モノトーンという制約の中での創意工夫をした表現を追及する。 4. 絵巻物として表装をして、自作の詩を作品に添える。もの(作品)と言葉が共鳴するような作品に仕上げ、互いに鑑賞する。
三学期	期末	日本の伝統的な玩具「凧」を作って揚げる 絵柄と「江戸文字」を組み合わせでデザインした凧を制作する	1. 日本の伝統的な「凧」の構造を理解して竹ひごで骨格をつくり和紙を貼る。 2. 絵柄と「江戸文字」を組み合わせでデザインにする。 3. アクリル絵の具を使って彩色をする。 4. 糸づけとバランスの足をつけて完成。 5. 3クラス合同で「凧揚げ大会」をする。

評 価 方 法	授業で制作した作品評価と期末試験での得点	
学習活動の特徴	市販品ではなく、オリジナルに開発した教材を使用している。	
授業の形態	実習およびスライドを使った作品鑑賞	
使用教科書	美術2・3上下 美を求めて 日本文教出版	
使用副教材	美術資料(秀学社) 美の世界(浜島書店) レタリング資料(正進社)	
用意するもの	美術セット	
備 考		